

(1) ワークショップ

配置案	班	メリット	デメリット	その他
A	1	・緊急車両が校庭に入れる ・延床面積、校庭共に確保でき、設計に自由度がある	・西側住民に圧迫感 ・3階が無理。既存校舎を建てる時に2階になった？ ・午前中、教室の日差し（東側）が強すぎる。	
	2	・教室での生徒の目線がグラウンド向きなのが良い ・コストが低い ・家並側にグラウンドがない ・校舎、校庭面積が最も広くとれる ・東側、南側の道路が有効活用できる ・緊急車両導線の確保		
	3	・さざんか教室が学校の一部という感じを受けない位置、構造を ・さざんか教室の存在は、災害その他の場合に配慮が必要な人にとっても良味がある空間になる さざんか教室が校舎として別枠で、広めのスペースが取れると聞いてまず良かったと思う ・さざんか教室の位置が普通学級の生徒と交差しない場所が望ましい ・さざんか教室の独立性が保てる（学校のイメージではなく）。動線が別。	・2階が3階になることで、日影の影響が気になる	
	4	・校庭が広い ・建物にゆとりがある ・プレハブで過ごせる（既存はエアコンが効かない） ・校舎、校庭の面積が広い ・荻窪駅からのアクセス、車両の出入りが確実 ・地域開放用口と校舎への立入りがない		
B	1	・緊急車両が校庭に入れる ・南側にグラウンドが広くとれる ・教室が南側になり良い	・校庭が狭く、テニスコートは諦めなくてはいけない	
	2		・校庭が狭くなる（同意見1件）	
	3		・緊急車両の進入が難しい	
	4			
C	1	・一番早く新校舎を使用できる ・仮設校舎の使用がない（体育館のみ） ・さざんかと中学校の教室が離れている ・さざんかと中学生の入り口が分かれている ・旧校舎が使える	・緊急車両が校庭に入れない（同意見1件） ・東側近隣住民に圧迫感	
	2		・家並側からすれば騒音も心配	・グラウンドが人工芝なら・・・
	3		・緊急車両の進入が難しい	
	4		・旧校舎が使える（旧校舎は暑い）	
D	1		・緊急車両が校庭に入れない ・工期が長い	
	2		・緊急車両南側からグラウンドに入れない ・家並側にグラウンド⇒砂埃の影響 ・西側家並に南からの日照が影響する ・教室での生徒の目線	・D案なら4階建てが可能かと思ったが・・・ ・開放する時のプールへの動線が？ ・南側に校舎がくるなら、緊急車両用に1階は吹抜けにしてほしい
	3		・校庭中央に日影が生じる（夏はメリット） ・トラックはもう少し広く使えないか ・生徒の登下校の動線が限定される ・今まで校舎がないところに校舎ができることで、音や視線の影響が気になる	
	4	・アクセスが楽	・冬は校庭が寒い ・クラスルームからの景色がいまいちそう	
共通				・立方体の建物の具体的な内容が分からない。

(2) その他質疑

質疑	回答
・既存管理教室棟が4階だが、B案は3階。それなのになぜ南側に寄せないといけないのか。	日影規制と認定上、北側から離さなければならないという2つの要件があるため、B案の位置になる。
・議論のテーマ、方向性を定めないと難しい ・杉並区として、校庭の配置について考えはあるのか ・校舎の配置案それぞれの近隣への影響を知りたい（どの案が一番影響が少ないか）	・考えられる視点としては、工期、仮設校舎の規模、最終的な完成形等が挙げられる。 ・吹抜けを設ける等、採光・通風については並行して検討している。
・緊急車両はどこから入れるのか	・現状東門から入れていることに沿って考えると、可能なのはA・D案、B・C案は要検討。 南側の私道が利用できれば、南門から進入することも可能と考える。
・現在の4案は全て8,000㎡を超えているが、法的には問題ない範囲か。 ・7,500㎡が学校の標準だが、この枠の中であれば、さざんか教室を広めに取るということもできるという考えで良いか。	・法的には問題ない